

とおかまち



十日町新雪ジョギングマラソン大会
START



2011 スタート

1月2日(日)、第32回十日町新雪マラソン大会(新雪マラソン大会実行委員会主催/十日町中学校発着)スタートの瞬間です。今年は十日町中学校体育館落成のお祝も兼ねて開催されました。子どもからお年寄りまで約500人が参加。新年の夢をのせた感動のスタートになりました。

主な内容

- 新年のごあいさつ/市長対談 2-5
- ワクチン接種助成/税の申告相談 ほか 6-7
- 奨学生募集/吉田クロカン競技場利用 ほか 8-9
- 特別栽培農産物認証制度/地産地消 ほか 10-11
- 地域の風〜支所からのたより〜 12-13
- ときめきネットワーク/元気予報 ほか 14-15
- まちの話題TOPICS/新春企画 16-17
- お知らせ・ガイド 18-19
- ジュニア芸術祭-鑑島小学校- 20



市長対談 第2弾

「古民家の魅力」

カール・ベックスさんに話を聞く

十日町市に魅力を感じてくれる人に関口市長がお話を伺うこの企画。市長が公務先でいろいろな人とお話する機会がある中、「十日町市はすばらしいね」と言われることがたくさんあります。そのような人の声を市民の皆さんに紹介し、外から見た十日町市の良さや魅力をお伝えしていきます。

— 竹所に来て17年になりましたが、日本に来ることになったきっかけは何ですか？

ドイツにいる家族、特に父親は私が小さいころから日本びいきでした。父は教会などで絵を描く職人をしていて、芸術に深い造いがあり、日本文化にも興味がありました。

そういう父親の影響からか、日本にはすばらしい文化があると、小さいころから感じていました。また、パウハウス（1900年代初頭、ドイツに設立されたモダン建築に関する学校）のメンバーだった、ブルーノ・タウトの影響もありました。彼は、モダン建築を手がけた建築家で、当時のジャポニズムをとおして日本に関心を

持ち、晩年には日本を訪問しました。桂離宮をはじめとする庭園などの自然と調和した日本建築を見て褒めていました。私は彼の本も読んでいたし、自然といっしょに住む民族に共感して、日本に行きたいと強く思っていました。

私は12歳から柔道をしていました。20歳のころにはテレビで見た空手をしたくて、ドイツではやっていないのでパリに行きました。その後、1966（昭和41）年、船でフランスのマルセイユから日本に渡り、空手を学ぶために日本大学に留学しました。

当時、新宿はほとんど木造建築でした。スキーをするために湯沢町に来たときのこと、電車で群馬県からトンネルを抜けると、そこは別世界、本当に美しいと思いました。そのときのすばらしい景色が頭の中に刻まれています。

松代地域の竹所集落に居住し、古民家の再生を手がけるドイツ人建築家のカール・ベックスさん。日本で復元した古民家は約40棟。市内でも11棟を手がけました。竹所では、地域住民といっしょに、古民家再生を軸に地域活性化プロジェクトを推進し、わき水を利用した環境整備や盆踊り広場の復活など、にぎわいの場を作っています。松代商店街では、100年もの歴史のある旧旅館「松栄館」の建物を取得し、地域の財産として、地域活性化の中心となることを願い改築しました。今回は、その旧松栄館「まつだいカールベックス・ハウス」でお話を伺いました。

選ばれて 住み継がれる 十日町市実現にむけて



十日町市長 関口芳史



協力：おとぎの国美術館

高い品質の市民サービスを
目指して

年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、私が掲げる『人にやさしいまちづくり』『活力ある元気なまちづくり』『安心・安全なまちづくり』の実践の年と位置づけ、鋭意新規施策を打ち出すとともに、その実効性を高めるための『大胆な市役所改革・行財政改革』にもしっかりと取り組みました。また、信濃川の維持流量や十日町病院建設場所など、当市の将来にとって重要な課題について、今後に向けた確かな道筋を付けることができ、清津川の分水問題でも解決に向け一歩前進することができました。

力を注いだ福祉施策では、「地域子育て応援カード」の発行や、市全体としての保育料の引き下げ、子どもの通院医療費助成を小学校卒業まで拡大するなど、子育て世代の負担軽減を図るとともに、重度障がい者の生活支援や、就労支援、介護施設整備の前倒し実施など『やさしさのあるまちづくり』を進めてきました。

攻めの施策では、地域ブランド

の構築や起業家の支援とともに、中心市街地活性化の計画づくりにも着手し、まちを元気にする仕組みづくりを進めてきました。

しかし、こうした施策は、形づくることが最終目的ではありません。質の高いサービスとして、市民の皆さんに役立つことが肝心です。今年は、これまで急ピッチで進めてきた施策が、さらに「実」のあるものとなるように検証しながら、一層の改善を図りたいと思っています。「計画・実行・評価・改善」の繰り返しで、市民ニーズに合った市政が行えると確信しています。

積極的な後期計画をスタート

昨年は、私の強い思いで一年前倒しで市政の羅針盤ともいえる総合計画の「後期基本計画」（平成23（27年度）を策定しました。この計画は、社会・経済情勢の変化や市民ニーズに応え、子どもや孫の時代にも勝ち残れる足腰の強い十日町市を築くことを目指しており、今後5年間の予算付けを行う意気込みで策定しました。

計画に掲げた重点方針『人にやさしいまちづくり』では、特別養護老人ホームなどの整備を進め、

待機者の減少に努めます。子ども・子育て世代への支援では、通院医療費助成の中学校卒業までの拡大に取り組みます。

『活力ある元気なまちづくり』では、「中心市街地活性化基本計画」の策定や、頑張る企業のために「企業設置条例」適用、農林業の「6次産業化」の推進などによって地域経済の活性化を目指します。その際、国宝「火焰型土器」や「大地の芸術祭」「きもの」「食文化」などの財産を的確に活用していきます。

『安心・安全なまちづくり』では、地域中核病院の早期改築、地域高規格道路の建設促進、公共交通空白地の解消など、社会基盤の整備を進めます。

一つ一つの努力を重ね、成果を生みだすことで『選ばれて住み継がれる十日町市』を実現したいと思っています。

都会の若い人と話していると、里山の暮らしにそこがられる人が本当に増えています。既存の価値観やライフスタイルが大きく変わってきています。まだまだ気づいていない発展の芽が身近にあると信じています。大切な芽を市民みんなで育てていきましょう。

ドイツに戻ってからは、建築デザイナーとして、ヨーロッパや日本で活動していました。1983（昭和58）年からは、ドイツを中心にヨーロッパ各地で日本家屋の移築を手がけてきました。

育ったので山は初めてですが、年をとると田舎に行きたくなるんですね。自然や植物といっしょに生活したいと思っていました。スイスは素晴らしい景色です。しかし、ここには特別な雰囲気を感じました。田んぼや棚田、真つすぐに伸びた杉の木、人が触った自然ではなく、手つかずの自然。

もつと早く来れば良かった

―日本に来て、竹所に住んでみてどうですか？

地元の人は初めて会ったときからみんな親切で、いろいろ教えてくれます。私は自然の素材を使っ
てかやぶきの家を作りたいと思っていました。しかし、周りのみんなは、やめた方がいいと言うんです。雪が2、3m降るからつて。大げさに言つて、と思つたら、ちゃんと降りました（笑）。

しかし、今の時代だから道路はきれいに除雪されているし、東京に行くにも電車があるから便利ですよ。

自然は守らないといけません。ここにある雪は大切ですよ。私はここに雪がなかったら来ませんでした。雪景色は本当に美しい。四季の移ろいがまた美しい。春の雪

だけや新緑。夏は暑いけど自然の中だから、夜は涼しいです。秋は紅葉がきれい。楽しんでると1年があつという間に過ぎてしまします。竹所を選んで良かった。もつと早く来ればよかったと思つています。

昔から集落にあるわき水場を、きれいに手直しました。

―田舎を生かして、人を集めるコツはありますか？

雪のせいでこの地を出て行く人がいるのは知っています。それは、雪よりも、仕事がないからだと思っています。ドイツでも雪の降る時期は寂しいです。

しかし、今はコンピューターの時代だから、パソコンとインターネットがあればどこでも仕事ができます。また、日本に限らずドイツでもお年寄りが増えています。お年寄りには技術と経験がある。これを生かさないのはもったいないと思います。ドイツでも老後を田舎で生活する人は多いです。

農業はドイツも日本と同じで、小さい農家の経営は厳しいです。しかし、30年前農村だった地域が、観光エリアに大きく生まれ変わつてきています。ドイツでは休みが1か月くらいあるので、古い農家を直してペンションにして貸し出すというの也需要があります。

古い家のない町は、思い出のない人と同じ

―古民家の再生に携わっています。何か感じることはありますか？

私が感じるのは、建築の面から考えると、東京から来ても住む建物がないということです。あつたとしても、直していいので汚くなっています。田舎では東京に負けない雰囲気を作らないとだめですよ。雰囲気を作るためにも、古い建物を保存しなければだめだと思います。新しいものばかりを建

てるのはだめ。古いものを生かすのが良いと思います。

「古い家のない町は、思い出のない人と同じ」。これは昭和を代表する日本画家、東山魁夷の言葉です。古いものは価値がないものではなく、歴史や思いが詰まった単なる「モノ」以上のものなのです。日本人が古くから持っている、ものを大切にする文化を忘れてはいけないと思います。

伝えていきたい 古民家の良さ

―松栄館を改築しましたね。これからのようなことを行いたいのですか？

明治38年築で、平成21年4月まで営業していた旅館を購入して改築しました。とりわけ古い家は断熱のことが問題といわれます。そこで骨組みだけ残して、壁の中は新しくしました。断熱材をしっかりと入れて、窓はペアガラスにします。すると、昔の家とは思えないくらい暖かい家になりますよ。

松代の商店街には良い建物がた

まつだいカールベックス・ハウス

くさんあります。町並み再生のためにアルミサッシを木のサッシにするなど、断熱をしっかりと取りながら、古い建物のような雰囲気を残せば良いと思います。しかし町並みの電信柱は気に入りました。これはなんとかしたいですね。竹所がそうですが、外から人が集まると地元の人も元気になるます。地元の人はすばらしいものを持っています。ただ、皆さん気づかないだけです。ドイツのことわざで「森の中にいると木が見えない」という言葉があります。生まれたときからいるから見えない。良さに気づかないのです。

集落の活性化、「TAKATOKO夢プラン」を説明するベックスさん。

―日本人は効率を追求するあまり、守らなければならぬ大切な物をたくさん捨ててしまいました。―
十日町市は、これからまだばん回できますよ。そのためには、もつと田舎の伝統的なものを生かせばいいと思います。

私ができる一番のことは、古民家のすばらしさを人に見せることです。竹所では静かに暮らしていますが、商店街の中にあるカールベックスハウスなら、大型バスで何百人来ても歓迎します。地域の人とみんなで一丸になって取り組むことが理想ですね。



子宮頸がんなどのワクチン接種費用の全額助成を開始します

市では、平成23年1月から子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用を全額助成します。

子宮頸がん予防ワクチン

子宮頸がんの主な原因は、ヒトパピローマウイルスの感染といわれています。子宮頸がん予防ワクチンは、このウイルスの感染を予防することで、子宮頸がんなどの発症を予防するワクチンです。

【助成対象者】

平成23年1月4日現在、十日町市に住所を有する中学3年生の女子
※助成対象者には、個別に案内をします

【助成期間】

1月4日(火)～3月31日(木)までに接種した分

【助成回数】

3回（助成期間中に1回でも接種を受けた人は、6か月後の3回目まで全額助成します）

ヒブワクチン 小児用肺炎球菌ワクチン

乳児に死亡または重篤な後遺症を残すことがある細菌性髄膜炎

は、主にヒブと肺炎球菌の感染が原因とされています。ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンは、これらの菌を原因とする感染症を予防するワクチンです。

【助成対象者】

接種日現在、十日町市に住所を有する0～4歳児

【助成期間】

1月4日(火)～平成24年3月31日(土)までに接種した分

【助成回数】

最大4回

接種方法

接種を希望する人は、下表の医療機関に予約をして接種を受けてください。窓口での支払いが発生しません。

ただし、問診の結果、接種を受けられなかった場合は問診料の負担が生じることがあります。

◆問合せ

健康支援課母子保健係

☎ 757-9759

税の申告相談のお知らせ

支所の申告相談会の 期間を短縮します

例年各支所で開催していた税の申告相談会は、開催期間を短縮します。これまで支所の相談会場へ来ていた人、新たに申告をしようと考えている人は、開催日を確認し、機会を逃すことがないようにお願いします。土・日曜日は相談会を行いません。なお、十日町保健センターで開催する申告相談会

申告の事前相談会を 開催します

は、例年どおり2月16日(水)～3月15日(火)の間開催されます。詳しくは、市報1月25日号に掲載します。

税務課では、各支所の申告相談

期間を短縮することに伴い、期間中の支所申告会場の混雑・待ち時間の緩和のため、次の人を対象に事前の申告相談会を開催し、申告書の事前作成をお手伝いします。あらかじめ各関係機関から必要書類を取り寄せるなどの準備をしておいてください。

- ・市・県民税の申告が必要な人
- ・所得税の還付を受けようと考えている人
- ・自分は申告が必要なのか、判断に困っている人

※対象者は原則として当該支所地域の人ですが、ほかの支所地域の人も相談を受けることができます。相談を希望する人は、各支所市民課に相談日・時間・内容などを事前に予約してください

事前相談会の開催日程は次のとおりです。

会 場	期 日
中里支所	2月7日(月)・8日(火)
松之山支所	2月7日(月)・8日(火)
川西支所	2月9日(水)・10日(木)
松代支所	2月9日(水)・10日(木)

●開催時間：午前9時30分～正午
午後1時～4時30分



●申込み・問合せ
川西支所市民課
☎ 768-4956

中里支所市民課
☎ 763-2513

松代支所市民課
☎ 597-2221

松之山支所市民課
☎ 596-3152

はたちの献血 キャンペーン実施中

新成人を中心に、献血思想の普及と血液が不足しがちな冬の献血者の確保を目的に、1月1日から2月28日まで全国一斉に「はたちの献血キャンペーン」を実施しています。血液を必要としている人の8割が50歳以上で、献血をしている人の約8割が50歳以下。献血は世代を超えた助け合いで成り立っています。県内では、献血バスが各市町村を巡回し、3か所の献血ルームで毎日受付を行っていますので、ぜひお立ち寄りください。皆さんの若さと善意で献血にご協力をお願いします。

【「長岡きたまち献血ルーム」が移転しました】

●名称…献血ルーム千秋
●住所…長岡市千秋2-1087-1センタープラザ2階（T-ジョイ長岡向かい）
☎ 0120-056339

●受付時間…午前9時30分～午後5時

●問合せ…健康支援課母子保健係
☎ 757-9759

医療機関名	住所（行政区）	電話番号	実施する予防接種			かかりつけ以外の人の受付
			子宮頸がん	ヒブ	小児用肺炎球菌	
池田医院	本町西1	752-2581	○	○	○	○
大熊内科医院	山本町1	752-7066	○	×	×	○
大島医院	川原町	752-2957	○	○	○	×
大坪医院	四日町新田2	757-6100	○	○	○	×
小林内科医院	中町	752-7155	○	○	○	○
せき整形外科	四日町2	750-1155	○	×	×	○
たかき医院	土市5	758-2361	○	○	×	○
十日町病院	高田町3南	757-5566	○	○	×	×
田中外科医院	田中町本通り	752-2403	○	×	×	○
庭野医院	寿町4	752-2711	○	○	○	○
本町クリニック	本町3	750-1160	○	○	○	○
山口医院	袋町中	752-2174	○	○	○	○
山口医院	下条中央通り	755-2003	○	○	○	○
あべ小児科クリニック	発電所通り西	761-1320	○	○	○	○
国保川西診療所	高原田	768-2034	○	○	○	○
富田医院	上新井	761-0200	○	○	○	○
上村病院	田中	763-2111	○	×	×	○
国保倉俣診療所	芋川	763-2147	○	○	○	○
松代病院	松代	597-2100	○	○	○	○
国保室野診療所	室野	598-2101	○	○	○	○
国保松之山診療所	松之山	596-2240	○	○	○	○
津南病院	大割野（津南町）	765-3161	○	○	○	○
石川医院	逆巻（津南町）	766-2061	○	○	○	○
古藤医院	押付（津南町）	765-3001	○	○	○	○
藤巻医院	真人（小千谷市）	0258-86-3006	○	○	○	○

平成23年度市奨学生を募集します

■応募資格
平成23年度に高等学校・高等専門学校・専修学校・短期大学・大学に進学予定か在学中で、次のすべてに該当する人
①保護者が十日町市に3年以上住所を有し、市税を滞納していないこと
②学業成績が優秀と認められる人
③経済的な理由で学資の支払いが困難な人
④心身ともに健康な人

■奨学金の月額
高等学校……10、000円
高等専門学校……20、000円
専修学校……30、000円
短期大学……35、000円
大学……35、000円

■貸与期間
平成23年4月から在学する学校の最短卒業年限の終わりまで

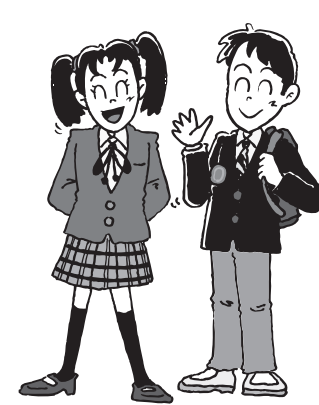
■提出書類
①奨学金等貸与願書
②在学（卒業）学校長の推薦書
③成績証明書
④住民票の世帯全員の写し（とう本）

⑤平成22年度（平成21年分）の所得課税証明書（世帯全員のもの。ただし、義務教育を終えない人及び高校生以上の学生は除く）
⑥平成22年度納税証明書（生計中心者である保護者のもの）
※①②は市ホームページから入手できます

■その他
修学一時金希望者も若干名募集します（高等学校20万円、大学50万円、願書は奨学金と兼用）

■申込み期限
2月28日（必着）

■申込み・問合せ
教育総務課庶務係
☎757-3118
※3月下旬に奨学生を内定し、同月末までに応募者に通知します



●開場時間（積雪状況により変更あり）
平日…午後1時～6時
土・日曜日、祝日…午前10時～午後6時
※吉田CCネットホームページ（http://www.yoshidacc.net/）より、天候・積雪状況の確認ができます

●使用について
・使用前に吉田クロスカントリーハウス2階受付で使用料金を支払ってください。
・休憩は吉田クロスカントリー競技本部1階、スターティングハウス、吉田クロスカントリーハウス1階更衣室を利用してください。

●問合せ スポーツ振興課
☎752-4377

2011 市内クロスカントリー競技大会開催予定

大会名	開催日	公式トレーニング期間	会場
平成22年度新潟県スキー選手権大会	1月20日(金)～23日(日)	1月18日(火)～20日(木)	吉田クロカンコース
上石巖記念第25回まつだいクロカンスキー大会	1月30日(日)	—	松代クロカンコース
十日町・川西小学校親善スキー大会	2月5日(土)	2月4日(金)	吉田クロカンコース
第61回松之山スキー競技大会	2月6日(日)	2月5日(土)	松之山クロカンコース
第40回市民スキー選手権大会	2月13日(日)	2月12日(土)	吉田クロカンコース
郡市中学校新人スキー大会	2月16日(水)	2月15日(火)	吉田クロカンコース
第89回全日本スキー選手権大会	2月26日(土)～3月1日(火)	2月24日(木)～26日(土)	吉田クロカンコース
吉田地区民スキー大会	2月27日(日)	2月26日(土)（時間制限有り）	吉田クロカンコース
カルフカップ第31回十日町クロカンスキー大会	3月12日(土)～13日(日)	3月11日(金)	吉田クロカンコース
第25回松之山温泉クロカンスキー選手権大会	4月17日(日)	4月16日(土)	大蔵寺高原クロカンコース

市民スキー選手権大会出場者募集！

■日時：2月13日(日) 午前8時 受付開始
■会場：松代ファミリースキー場
■参加資格：市内及び津南町在住・在学・在職者
■競技種目（大回転）
①小学3年以下男女②小学4年男女③小学5年男女④小学6年男女⑤中学男女⑥高校生以上女子⑦高校生以上24歳以下男子⑧25歳以上34歳以下男子⑨35歳以上44歳以下男子⑩45歳以上54歳以下男子⑪55歳以上男子
■参加費：1,000円（リフト代別）
■申込み：1月19日(水)までに、申込み用紙に参加費を添えて市総合体育館に提出
■問合せ
樋口 ☎757-9946（建設課内）

■日時：2月13日(日) 午前7時30分 受付開始
■会場：吉田クロスカントリー競技場
■参加資格：市内在住・在学・在職者
■競技種目
【個人】①小学2年以下男女1km②小学3年男女2km③小学4年男女2km④小学5年男女3km⑤小学6年男女3km⑥中学男子パシュート（3kmC＋3kmF）⑦中学女子パシュート（2kmC＋2kmF）
【スプリントリレー】①小学男子②小学女子（ともに3人×1kmを各2回）③中学男子④中学女子（ともに2人×1kmを各3回）
■参加費
個人：1,000円、リレー：1チーム1,000円
■申込み：1月21日(金)までに、申込み用紙に参加費を添えて吉田クロスカントリーハウスに提出
■問合せ：児玉 ☎757-4362

新潟県特別栽培農産物認証制度の 申請受付を開始します

新潟県が定める栽培基準に基づいて生産された農産物を認証する制度（新潟県特別栽培農産物認証制度）の、平成23年度分の申請受付を開始します。この制度は、安全・安心な農産物に対する消費者ニーズの高まりに対応するため、県基準に合致した県産農産物を特別栽培農産物として認証し、適正な表示どおりの農産物であること保証するものです。

認証基準

- ①化学合成由来の窒素成分量が、地域慣行栽培基準の50%以下であること。
- ②節減対象農薬の成分回数が、地域慣行栽培基準の50%以下であること。

※地域慣行栽培基準とは…その作物の栽培される地域で、慣行的に使用される「節減対象農薬の使用回数」及び「化学肥料の窒素成分量」の、県が定めた基準

対象となる農産物

新潟県内で生産された米（玄米・精米）、大豆、野菜、果実、茶です。ただし、加工品や一定栽培面積基準以下のものは除きます。

認証を受けるためには

認証を希望する人は、市へ申請書を提出してください。その後、地域認証委員会が栽培管理計画などの検討や栽培状況などの現地調査を行い、その結果に基づき県が認証します。

申請書の提出

2月1日(火)までに、農林課農業企画係、または各支所農林建設課農業振興係へ提出してください。資料請求も受け付けています。

■問合せ
農林課農業企画係
☎757-3120
十日町地域振興局農業振興部
企画振興課
☎757-5518

エコファーマーに なりませんか

エコファーマーとは

有機物による土づくりを行いつながり、農薬や化学肥料の使用量を減らした農業を実践する計画（導入計画）を、「持続性の高い農業生産方式の導入に関する法律」に基づいて知事が認定した農業者です。

エコファーマーの特典

○農産物にマークを張ることが出来ます。園芸産地は、部会員全員が認定されることにより、産地としてマークの使用が可能となります。

○「農地・水・環境保全向上対策」の営農活動支援の要件の一つとなっています。

申請についての詳細は、上記の問合せ先までお問い合わせいただけます。



十日町市

雪の写真コンテスト

「森の学校」キヨロロでは、雪国での暮らしや雪の中でも楽しく遊ぶ子どもたち、美しい雪の風景など、十日町市の雪にまつわる写真を募集します。

撮影年代は問いません。応募作品は10月からキヨロロで展示し、入館者の投票で「笑顔が素敵で賞」や「豪雪で賞」などを決定します。とっておきの雪の写真を持っている人は、ぜひ応募してください。

●募集期間…5月31日(火)まで

※詳細・応募方法はホームページで確認するか、キヨロロに問い合わせてください

●問合せ…キヨロロ

☎595-8311



地産地消

新鮮

おいしい

農家の皆さんが丹精込めてつくっています。

十日町産を食べよう！

No.5 越後姫

じっくり熟成した甘みと香り。十日町市では温泉熱などを利用して栽培しています。



越後姫は「かれんでみずみずしくお姫様のようなイチゴ」であることから名付けられました。「冬の日照が少ない日本海側でも品質の高い、おいしいイチゴを」と、長年かけて県が育成したオリジナル品種です。赤みは淡いですが、香りが高く、寒い冬を乗り越えてじっくり熟成した甘みが特徴です。

当市では、温泉熱などを利用した常設ハウスの中で冬を過ごし、熟成された甘みを蓄えます。12月から収穫される大粒の一番果をぜひお試しください。

〈収穫時期〉12月～7月

〈おいしい食べ方〉

そのまま、イチゴミルク、イチゴサンドなど

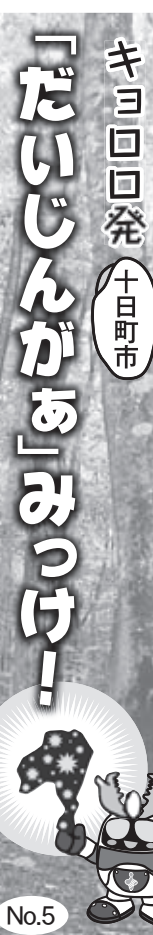
●問合せ 農林課農業企画係 ☎757-3120

溪流の狩人ヤマセミ

地表が雪で覆われ、鳥のえさが少なくなる季節でも、鳥は懸命に生きています。その中の一つにヤマセミがいます。ヤマセミは体長が約38cmあり、黒と白の鹿の子模様をした大形のカワセミの仲間です。頭にある冠羽が目立つ鳥で、飛んでいるときは白く見えます。東南アジアから中国にかけて繁殖し、日本では北海道から九州まで留鳥として一年中生息しています。しかし、数は少なく、なかなかお目にかかれません。

十日町地域では、河川や溪流で主にウグイ（アカバヨ）やアブラハヤ（ドロツパヨ）などの魚を食べています。くちばしが大きく、捕った魚を枝や岩に何回もたたいて弱らせてから飲み込みます。

松之山では、洪海川・越道川・東川にそれぞれ一番が生息していると思われまます。「森の学校」キヨロロのある松口集落を流れる越道川では、川に張り出した枝や電線に止まっているところを見ることが



No.5



があります。雪が降り続けると川面が雪で覆われ、えさを捕るところが極端に少なくなり、数日食べないで過ごすこともあるようです。川岸の斜面の土に穴を開け営巣します。近年、護岸工事が進み、川岸がコンクリートなどで覆われ繁殖に適した場所が少なくなりました。洪水の被害を減らすために川岸の樹木を伐採したりして、カワセミにとっては住みにくい環境になっていきます。

「キヤラツ、キヤラツ」と鳴きながら飛ぶので、この声を聞くと、「あ、まだヤマセミがいるな」と安心します。

●問合せ キヨロロ

☎595-8311



手を振って、お尻を振って

中里なかよし保育園でクリスマス会
12月22日(水)、中里なかよし保育園でクリスマス会が行われました。保育園の玄関や部屋には、園児たち手作りのリースやツリーが飾られ、クリスマスの装い。園児たちはこの日をとても楽しみにしていたので、いつも以上に元氣いっぱいです。ホールでサンタさんの到着を今か今かと待ち、鈴の音と共にサンタさんがやってくる

と、「どうやって空を飛ぶの?」「どうして雪が降っても濡れないの?」とたくさん質問していました。その後、『うさぎ野原のクリスマス』など3曲をみんなで楽しく踊りました。サンタさんから一人ひとりにお待ちかねのプレゼントが手渡されると、にこにこ顔で、「ありがとう」とお礼を言ってお受け取り、大事そうに抱えています。給食やおやつもクリスマス用のメニューで、ちよつと早いクリスマスをみんなで楽しんでいました。



プレゼントはなんだろう?

ながやぶ通信

中里支所
☎763-3111

とる中里
たから
探し

田中編

田中集落のJR越後田沢駅。その駅舎兼待合室の清掃を、約10年にわたって同集落の「田中とみじ会」の皆さんが行っています。同会には女性12人が所属し、清掃は4日に1回、2人1組で担当。12月20日(月)の朝も、1年前からメンバーになったという高橋チヨ子さん・樋口洋子さんが、手際よくトイレ掃除や待合室の床を水ぶきしていました。「近所だからそんなに苦にならないね」と二人は言います。最近では皆さんの活動を見て、田沢小学校の教職員の皆さんや、中里中学校の生徒の皆さんが清掃に来てくれました。清掃の際に必ず付ける業務日誌には、「寒さに負けず頑張ろう」と仲間同士励ましの言葉が書かれていました。



豊作の願いを込めて

今年は手作りの正月飾りで新年をと、12月初旬、桂集落センターで同集落の有志の皆さんが宝船などの正月飾りを作りました。今年の春からのわら用の稲作りに始まり、ようやくの飾り作り。「最初は宝船の俵を一つ作るのに半日もかかりました」と笑いながら話すのは山本重雄さん。皆さんで宝船を2つずつ作成し、さらには神社や集落センター用のしめ縄飾りも作りました。思い思いの宝船には、「今年は米が不作だったんだが、せめて宝船には俵をいっぱい積んでおかんだ」と、俵と共に来年の豊作への期待も積まれているようでした。



『のっどれ!松代城』 出場戦士大募集



冬の陣最大の目玉である雪中レース。会場から山頂の松代城まで、標高差約200m、約3kmの雪上コースに設置された難関関所を突破し、松代城一番乗りを競います。

ます。城主を目指し、いざ出陣!
■日時…3月13日(日) 午前11時30分スタート
■出場資格…高校生以上の男女
■参加費…3,000円
■定員…先着450人
■賞品…優勝者には地元産コシヒカリ一石(150kg)を贈呈。また、完走者の中から抽選で、遠島の刑(ハワイ旅行)や釜茹での刑(芝峠温泉雲海宿泊券)などうれしい褒美・刑罰多数。
■申込み…2月25日(金)までに、FAX・Eメール・郵送にて受付

第二十四回

越後まつだいの陣

『越後の国はまつだいのに冬將軍に立ち向かう、熱き・厳じゆまつだいの陣』

3月12日(土)・13日(日)、松代総合体育館グラウンドを会場に「越後まつだいの陣」を開催します。屋台が立ち並び、さまざまな催しを行います。ぜひご来場ください。



まつだいのステーション

松代支所
☎597-2220

出陣歌謡祭

(世田谷区交流20周年記念)

雪上特設ステージで出陣歌謡祭(BSNラジオ特別公開録音)を行います。
※撮影はご遠慮ください

■日時: 3月13日(日) 午後0時50分～2時10分
■入場料: 無料
■ゲスト: 城之内早苗、カズン



城之内早苗



カズン

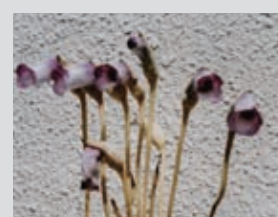
申込み・問合せ

越後松代幕府本陣
(松代支所地域振興課内)
〒942-1592 十日町市松代3252-1
☎597-2220 FAX597-2300
Eメール
matsudaikankou@ybb.ne.jp

松代の自然⑦

ナンバンギセル

松代郵便局へ勤務していた若いころ、職場の同僚と熊越山にキノコ採りに行き、田のあぜで葉のない茎だけの変わった花を見付けました。キノコはいくつかあった程度でしたが、酒のさかなにする口実になればの魂胆でしかないので、成果は問題ではありません。まだ植物趣味の入口の私でしたが、帰ってから採取した花を調べてみると、ハマウツボ科の一年草の寄生植物であるナンバンギセルで、ススキ



やミヨウガの根に寄生するものと判りました。その後、別の場所でも熟した種子を採取して、家の裏にある芽の根元に種子を塗り付けたところ、翌年にくつつかの花が見られました。寄生させるのに成功したのです。
ナンバンギセルは「南蛮煙管」という意味で、漫画のポパイがくわえているパイプを連想させます。また、古くから人々の関心を呼んでいたらしく、古名を「思ひ草」と呼びました。首をうなだれて恋しい人に思いをはせる佳人の姿を想像したに違いありません。
写真は、京都府に住む弟から借りたものです。
(文 高橋八十八 写真 関谷十九二)



庭野 日裕ちゃん にわの ひゆうちゃん
平成20年3月13日生まれ
本町東1 (写真左)

ウルトラマンセブンがお気に入りのひゆうちゃん、こうえいお兄ちゃんとウルトラマンごっこをして遊んでいます。パパやママたちと温泉旅行に行つて、大好きな温泉にいっぱい入ってきました。



67



上原 尚弥ちゃん うえはら なおやちゃん
平成21年12月27日生まれ
西本町3 (写真中央)

のりかお姉ちゃんといきお兄ちゃんが大好き！いつも3人で仲良くお絵かきしたり、いたずらしたりしています。11か月くらいで歩けるようになってからは、元気いっぱいにお姉ちゃんお兄ちゃんを追いかけしています。



一年をとおして、いつでもどんな野菜も手に入る時代ですが、やはり一番おいしい季節「旬」があります。旬の野菜には、その季節を元気に過ごすために欠かせない栄養が豊富に含まれ、健康維持・健康増進の効果が高くなります。

【代表的な冬野菜】大根、白菜、ねぎ、ごぼう、ほうれん草、ブロッコリーなど
○冬野菜の甘み 寒い時期、野菜自身が凍らないように茎や葉の糖度を高くするため、甘みが増します。
○冬野菜の効果 体を温める効果があるといわれています。野菜に含まれるビタミンCには、鉄分の吸収を促し、毛細血管の機能を保持する働きがあり、血行を促進します。ただし、ビタミンCは水に溶け出し、スープや鍋物などにするのがお勧めです。

野菜をたくさん食べるコツ

- ・加熱してかさを減らす。
- ・和え物のバリエーションを増やす。
- ・付け合わせの野菜は残さない。
- ・外食は一品ものより定食を選ぶ。

冬野菜を食べよう！



問合せ

健康支援課母子保健係
TEL757-9759

野菜を食べて疾病予防

①肥満予防

野菜自体はエネルギーが少ないため、たくさん食べて満足感が得られます。

②高血圧予防

野菜に含まれるカリウムは、体内の余分な食塩（ナトリウム）の排せつを促すため、減塩効果が高まり、高血圧予防になります。

※食事療法などで医師から指示を受けている人は指示に従ってください

野菜ばかりでなく、魚や肉などの食材と組み合わせることが、毎日の食生活の栄養バランスをとる秘けつです。

体調を崩しやすい冬には冬野菜を上手に活用し、元気に過ごしましょう。



商店街 今こそチャンス！

十日町商工会議所が公募した中心市街地活性化コーディネーターに採用され、10月から、本町3丁目の空き店舗に「商店街にぎわい研究所」を開設して活動しています。この場所は、個店のPRビデオの放映や魅力ある商品のサンプル展示・販売などを行い、商店街の情報発信と受信の拠点施設になっています。無料休憩所としても開放しているため、有志で作った手作り看板を目印に、商店街に足を踏み入れたお客様が気軽に立寄り、そしてお店の新しい発見ができる場になりたいですね。



坂井 昌宏さん
1970年生
十日町商工会議所勤務
中心市街地活性化コーディネーター
先月の蕪木麻美香さんからのバトンタッチ。

とおかまち観光ドット混む情報

観光交流課 ☎757-3100

小正月の伝統行事（奇祭）

小正月に鳥追い・ほんやら洞・さいの神などの伝統行事が各所で行われます。中でも奇祭として知られる珍しい行事を紹介します。

■ 大白倉のバイトウ

ケヤキとワラで直径8m、高さ10mの家「バイトウ」を作り、村中の人々が集い、酒宴を開いて祝います。最後に、バイトウに火をつけて無病息災を願い、30m以上も立ち上がる炎の形でその年の五穀豊穡を占います。

【日時・会場】
1月14日（金）
午後5時～9時ころ、大白倉公民館前



■ むこ投げ・すみ塗り

「むこ投げ」は、花婿を高さ5m以上のがけから投げ落とす行事で、村の娘をとられた腹いせが起源とも言われます。

「すみ塗り」は、さいの神を燃やした灰と雪で作った墨を、「おめでとう」の声とともに顔に塗り合う、600年続く行事です。

【日時・会場】 1月15日（土）午後2時～4時ころ、松之山温泉街 薬師堂

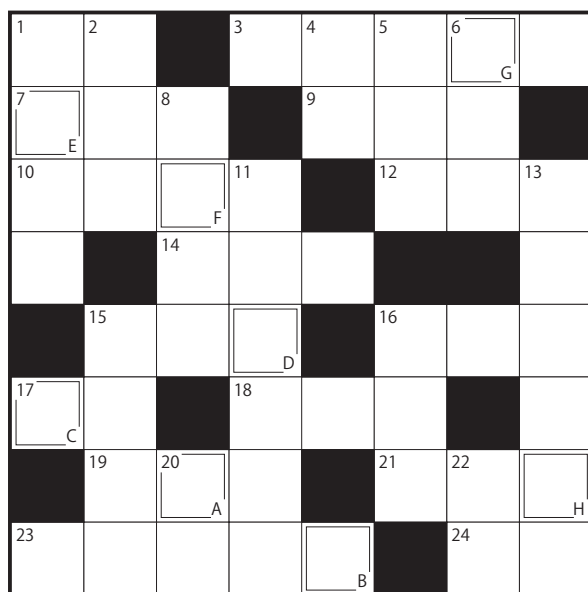




新春企画

クロスワードパズル

新春お楽しみとして、クロスワードパズルを企画しました。マス目のAからHの言葉をつなぐと、十日町市になじみの深い2つの言葉が表れます。答えをはがきを書いて、下記まで応募してください。



タテのカギ

- ①県内唯一の〇〇〇〇。火焰型土器は笹山遺跡で発掘されました。
- ②松之山のおみやげで有名な〇〇〇もち。
- ④春夏秋冬。十日町市はこの移ろいが美しい。
- ⑤お風呂はこの材質でできた物が最高です！
- ⑥家の周りの冬支度。窓には板をはめ込みます。
- ⑧川西の直売所といえは？

- ⑪その美しい立ち姿からこの名前が付きました。
- ⑬信越トレイルをはじめ、市内にはこれができる場所がたくさんあります。
- ⑮「あゝのとりのとつからやつてきた〜」。害鳥類を追い出し、豊作を願う、古くから行われてきた小正月行事です。
- ⑯上杉軍道とも呼ばれた、松之山〇〇〇。
- ⑰一般的にはおじさんのことですが、市内では弟という意味で使われることも。

ヨコのカギ

- ①そばやうどんには、この強さが欠かせません。
- ③日本に誇る、十日町市産の主食といえは。
- ⑦社長や校長先生が、朝礼などで話す言葉。日常使われる注意という意味もあります。
- ⑨十日町市を代表する農産物の一つになりました。生産高は、長野県に次いで全国2番目を誇ります。
- ⑩セーターなどのほつれ。
- ⑫蚕の繭をほどこいて繰り取った糸のこと。
- ⑭熱帯アジア原産のハーブ。パスタやピザで使われることもあります。
- ⑮昔は瓦を使いましたが、今はこの屋根が多くなりました。
- ⑯暖房器具の一つ。「猫が丸くなる」の一節が有名ですね。
- ⑰春の七草の一つ。白根草とも呼ばれます。
- ⑱小鳥のさえずりがさわやかな気分になてくれます。大蔵寺高原にある宿泊施設。〇〇〇がー

正解者の中から抽選で5人に1,000円分の図書券をプレゼントします。当選者の発表は賞品の発送(2月中旬)に代えさせていただきます。

◆応募方法：1月31日(月)(消印有効)までに、パズルの答えと郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入したはがきを、下記まで送付してください。

◆応募・問合せ：〒948-8501 十日町市千歳町3-3 企画政策課広報広聴係 ☎757-3112

- ⑲アパートなど借家の持ち主のことです。
- ⑲シヨウガ科の多年草。カレーの香辛料として使われます。テレビでは、二日酔いを抑止する効果をうたう商品もよく見かけますね。
- ⑲日ごろからこれに備えることが大切です。家具類の転倒防止や非常持出品の用意を忘れずに。
- ⑲たとえば、果物を木から取る動作を、こういいますね。



早稲田寄席〜まつだい亭〜

12月18日(土)・19日(日)、まつだい郷土資料館で十日町市松代・早稲田大学交流記念事業「早稲田寄席〜まつだい亭〜」が開催されました。いろいろある昔の農家の客間を舞台に、早稲田大学の落語研究会の学生5人とマジッククラブの学生3人が日ごろの稽古の成果を披露しました。初めは緊張していたようでしたが、昔ながらの古典落語や新しく作られた創作落語、ボールやトランプのマジックなど多彩な演目に詰めかけた観客からは大きな拍手が贈られ、会場は歓声と笑い声に包まれました。また、休憩時には「松代お茶の会、の皆さんによる抹茶とお菓子のもてなしもあり、観客は和やかなひとときを過ごしました。



定期市でにぎわいを

12月10日(金)、十日町中心商店街の3か所を会場に「とおか市」が開かれました。これは、地元商店の若手経営者が中心に企画したもので、雑貨販売や屋台村は多くの人出でにぎわいました。企画を提案した坂井昌宏さん(39歳)は、「高校生たちが参加して、イベントを盛り上げてくれてうれしい。今回のイベントを分析して次回の開催に生かしたい」と話していました。



まちの話題 TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、企画政策課広報広聴係(☎757-3112)へ、気軽にお寄せください。

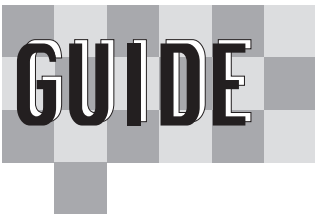
tokamachi topics

障がい者美術展入賞

肢体不自由児・者の生きがいと自立、社会参加を促進し、障がいのある人への理解を得ることを目的に、毎年開催される美術展で、次の皆さんが見事入賞を果たしました。(社)日本肢体不自由児協会の美術展の書道部門では、江村克巳さん(千手栄町・72歳)が優秀賞、村山宏さん(為永・78歳)が努力賞を受賞。また、新潟県障害者社会参加推進センター開催の芸術文化祭では、同じく書道部門で、大倉達男さん(田中・78歳)が実行委員長賞、江村さんが審査員特別賞を受賞しました。



前列左から大倉さん、江村さん、村山さん、後列左から書の講師の岩田さん、樋口理事長



お知らせ・ガイド
市役所 TEL 757-3111

し座 催講

本をかかえて集まろう！
読書サロン第2弾

今回のテーマは「旅」。「旅」に関する小説やエッセイ、紀行文など、自分のお気に入りの本を持って参加してください。参加者同士で持参した本の感想や魅力についてじっくり語り合います。●日時 1月25日(火)午前10時～正午●参加費 無料●会場・問合せ 情報館(☎750-5100)

話し方講座
ことばの柔軟体操④

『場に応じた話し方』を学びます。●日時 1月22日(土)午後2時～3時30分●会場

情報館●参加費 300円(テキスト代) ※既にテキストがある人は必要ありません●講師 エフエムとおかまチパーソナリティー●申込み・問合せ 企画政策課協働推進係(☎757-3693)

第9回妻有演劇まつり

テレビや映画とは違い、臨場感ある演劇をぜひご覧ください。●日時 1月29日(土)30日(日)午後1時30分(開場1時)●会場 市民会館●入場料 無料●出演団体 29日・塩沢商工高校演劇部、十日町高校演劇部、六日町高校演劇部 30日・小出高校演劇部、劇団御の字、小千谷西高校演劇部●問合せ 中央公民館(☎757-5011)

キナーレ体験工房館 着付け教室

1・2月は男性の着付け教室、2・3月は通常の着付け教室(女性向け)を行います。男性の着付け教室には夫婦での参加もできます。●開催日 2月の毎週土曜日 通常の着



770-2400

休日証明書発行窓口が 停止します

証明書発行機器の保守作業のため、市役所本庁及び情報館での休日証明書発行窓口が停止となります。ご理解とご協力をお願いします。●日時 1月15日(土)終日●問合せ 市民生活課市民年金係(☎757-3116)

中央公民館の定期的利用を希望する皆さんへ

中央公民館や市民会館を定

寄付ありがとう

12月22日届出分まで(敬称略)

- とおかまち応援寄附金へ＝関口正洋(東京都町田市) 庭野議隆(東京都港区) 水野良昭(東京都武蔵野市)
- 十日町市へ＝医療法人社団本町クリニック(対面4人乗りベビーカー)
- 交通遺児等援助基金へ＝(株)ぴっとランド(41,113円)
- つくし園へ＝イオンリテール(株)ジャスコ十日町店(療育玩具)
- 情報館へ＝庭野雅弘(田中町本通り) 蕪木勝行(太子堂) 小野塚一(中央町) 太田せつ(高原田) 上村字一(新宮1)
- 博物館へ＝柳實(太平) 増田一吉(下条1) 尾身益雄(鉢1) 阿部トミ(千歳町1) (株)清華(学校町1) 佐藤司(東京都北区)

付け教室・2・3月の毎週木曜日●時間 午後1時30分～3時30分●受講料 1回500円 ※きもの一式持参(有料貸出あり)●定員 10人(当日受付可)●会場・申込み・問合せ キナーレ(☎752-0117)

スノーシュー・歩くスキーを体験しませんか

スノーシュー(かんじきのようなもの)や歩くスキーを履いて、子どもたちが滑走している吉田クロススカントリイコースに行ってみませんか。ノルディックウォーキング指導員が履き方や歩き方、滑り方などを指導します。気軽に申し込んでください。●申込み・問合せ 吉田CCネット(☎752-3103)

十日町おやこ劇場

『わくわくキッズ(未就園児サークル)』ベテラン講師による『英語であそぼ』と『親子でリズム』です。親子で英会話をして楽しく体を動かします。●日時 1月20日(木)午前10時45分～11時45分●会場

期的に利用して活動したいと希望している団体の皆さんは、「十日町市公民館利用団体登録申請書」に必要書類を添えて中央公民館へ提出してください。申請書などの書類は中央公民館ロビーに設置してあります。新規に登録を希望する団体がありましたら、気軽に相談してください。●申請期限 2月4日(金)●申請・問合せ 中央公民館(☎757-5011)

十日町病院 眼科休診のお知らせ

1月27日(木)・28日(金)は眼科が休診となります。ご理解とご協力をお願いします。●問合せ 十日町病院(☎757-5566)

簿記検定試験 (2・4級)

●試験日 2月27日(日)●申込み期間 1月11日(火)～28日(金)●申込み・問合せ 申込み期間内に、申込書(問合せ先に配置)に受験料を添えて十日町商工会議所(☎757-5111)

中央公民館●参加費 2回目まで無料、3回目から200円●持ち物 着替え、飲み物【暗やみ豆まき会】曲芸師のあまのこうたさんがやってきます。●日時 1月30日(日)午後2時～3時●会場 サンクロス十日町●参加費 3歳以上200円●問合せ 十日町おやこ劇場事務局(加賀書院内 ☎752-2114)



公営住宅入居者募集

●募集期間 1月11日(火)～24日(月)※申込み条件の詳細は問い合わせください●申込み・問合せ 都市計画課建築住宅係(☎757-9935)

第62回十日町雪まつり ボランティアガイド募集

雪まつりに訪れる皆さんへの観光案内などのお手伝いをしませんか。●期日 2月19日(土)・20日(日)●場所 JR十日町駅東口前、本町分庁舎前(予定)の雪まつり案内所

【市報おわびと訂正】

市報12月25日号6ページで、川西地区主任児童委員の1人が南雲美和子さんとなっていました。正しくは南雲美知子さんでした。また、中里地区民生委員児童委員の山田和成さんの電話番号が☎763-4305となっていました。正しくは☎763-3798でした。おわびして訂正します。

23年度 十日町市入札参加資格追加申請

22・23年度十日町市入札参加資格を有しない人で、23年度に市が行う入札などへの参加を希望する人は、参加資格審査の申請を行ってください。

なお、22・23年度有資格者は、今回の追加申請は不要です。

- 受付期間：2月1日(火)～28日(月)
- 資格有効期間：4月1日(金)～24年3月31日(土)
- 問合せ：財政課契約検査係 ☎757-3114

お正月のたのしみ

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈いします。

▼昨春秋、市報の支所ページ編集の傍ら、国勢調査を担当しました。調査には市民の皆さんから多大なご協力をいただき、12月に入りひとまず事務を終えました。この場を借りてお礼申し上げます。ご協力いただき本当にありがとうございました。これからデータが集計され、国をはじめ市政運営の基礎として役立ちます。▼中里なかよし保育園のクリスマス会。クリスマス歌でお遊戯する園児の皆さんは、ずっとここに笑顔で、全力で踊ります。カメラを構える私もつられてにこにこ撮影。後で写真を見たら手ぶれが…。もしも踊りながら撮っていたのかもしれない。(石)

▼雪の朝、松之山のキヨロ口に行く機会がありました。雪の深さにちよつと不安になりました。雪の深さに笑い顔を迎えられて館内に入ると、新しい展示やジオラマが目がキラキラ。市報10月号で連載している、キヨロ口発「だいいんがぁーみっけ」に登場する生物や植物もいっぱい。十日町生まれでありながら知らなかったブナの秘密や、館内にあるブナ林のしかけに大興奮。この一年、十日町のだいいんにもたくさん出会えそうな気持ちになりました。雪の日でもキヨロ口は楽しかった！詳しくはないしよにしていきます。ぜひキヨロ口で体験してみてください。(ひ)

「残そう美しい 自然と環境」
環境にやさしいペレットストーブ
ペレット燃料の消費はCO₂削減につながります。
株式会社ぴっとランド十日町給油所様
でも取扱っております。土・日・祝日も休まず
営業しておりますので、是非ご利用ください。
高木沢企業株式会社 産業廃棄物処理業・ペレット燃料製造・ストーブ販売
十日町市山谷1403-1 TEL(025)752-5170

※市では広告を募集しています。詳しくは広報広聴係まで
市報とおかまち 平成23年1月10日号

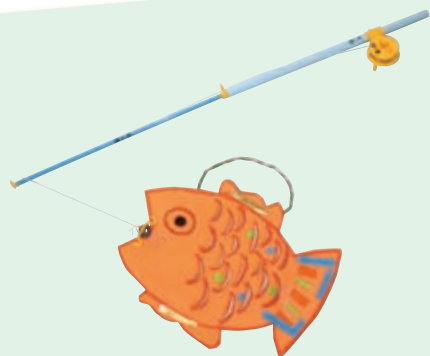


大きないも



上村 拳輝さん（1年）

学校でいもほりをしたときの絵です。たのしくほつとほつと、すごく大きないもがとれてびっくりしました。いもをほっている手をはたててかきました。



わたしのかわいい
オレンジ魚



野上 あいみさん（2年）

初めてカッターを使って作りました。うろこの切り込みを入れるのがうまくできてよかったです。2色のモールもつけて、カラフルでかわいい魚になりました。



ジューニア芸術祭

67

鑑島小学校



昔の大変さを知った
いねかり



山本 翔さん（3年）

学校田でいねかりをしたときの絵です。いねをつかむ手の部分をていねいに描きました。苦労しながらいねかりをしている様子をうまく表すことができました。



みんなで笑って
パーティーだ!!



水落 あゆみさん（4年）

「エルマーとりゅう」の物語で、宝物が出てきて大喜びしているところです。男の子が吹くハーモニカのさわやかな音色を上手に表現することができました。



思い出の校舎



柳 広夢さん（6年）

もうすぐ卒業なので、校舎を描きました。手前の物を大きくして遠近感を出し、校舎や木、草の色を点描でぬりました。写真のようによく描けたと思います。



実りの秋です



高橋 舞さん（5年）

近所の柿の木を思い出して描きました。柿の実がつつやしている様子を表すために、外側からぬり、内側をうすい色にしました。木の幹も濃淡をつけました。

市民の動き

■ 人口 60,117人（-47）男 29,381人（-21）女 30,736人（-26）
■ 世帯数 20,047世帯（-16）12月末現在（ ）は前月からの増減